

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2021-1024	利用 形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象: 三世代コホート調査未成年参加者 試料: なし 情報: 基本情報、調査票情報、ゲノム配列情報(SNPアレイ)		
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	Birkbeck College, University of London		
研究題目	小児の運動・精神発達に関連するGWASの国際メタアナリシス				研究期間	2022年1月～2023年12月	
実施責任者	小原 拓	所属	東北メディカル・メガバンク機構			職位	准教授
研究目的と意義	<p>本研究では、バークベック・カレッジ(Birkbeck College, University of London)のGenetics of Early Milestones and Skills project に参画し、諸外国の研究と共同して、運動発達に関連する遺伝子を探索します。</p> <p>精神発達においては、特に生得的な行動・感情のパターンである気質は、精神疾患、自閉スペクトラム症、注意欠陥・多動性障害を予測する可能性が示唆されています。これまで、気質に関連する遺伝子は報告されてきましたが、粗大運動や微細運動それぞれに関連する遺伝子は十分に検討されておりません。</p>						
研究計画概要	<p>本研究は、東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査に参加している未成年の方を対象に行います。未成年の方の調査票情報、遺伝情報、性別・年齢・続柄等の基本情報の項目を用いて、運動発達や精神発達に関連する遺伝子を検討します。研究に使用する情報は三世代コホート調査で既に収集済みの情報のみを用います。情報の取得・解析は東北メディカル・メガバンク機構のスーパーコンピュータ内で実施します。さらに、解析により得られた結果をバークベック・カレッジで収集している諸外国の解析結果と比較・統合的に解析します。</p>						
期待される成果	<p>粗大運動や微細運動それぞれがと気質の遺伝要因の検討を進め、さらに運動発達・気質に共通する遺伝子変異を検討することで、神経発達障害におけるより効果的な治療法の開発につながることを期待されます。</p>						
これまでの倫理 審査等の経過	2022年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認						
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	<p>研究は、人を対象とする生命科学・医学系研究の倫理指針を遵守するほか、ToMMoが定めるセキュリティポリシーに従い、ToMMoスパコン上にて解析が実施されます。</p> <p>ToMMoから共同研究機関に提供される解析結果は、個人特定性を有しない対象集団全体の集計・解析結果のみです。</p>						
その他特記事項	東北メディカル・メガバンク事業						

※公開日 令和4年2月15日